

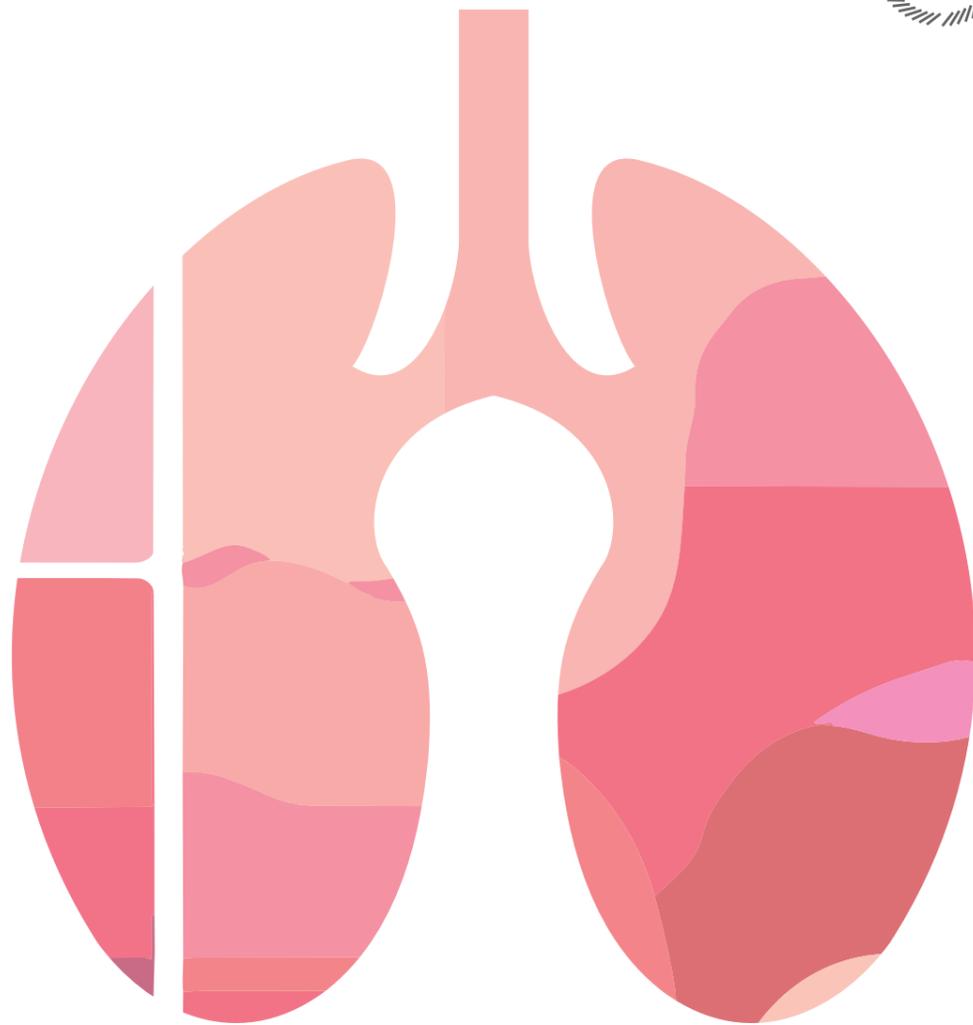
# ラポール Rapport

Asahikawa Kosei Hospital 

診療科特集/呼吸器科

2026  
2

専門診療の中核を担い続ける  
呼吸器科をめざして



診断・治療に悩む  
症例にも応える診療体制

## What should I do? 患者さん紹介

連絡先

旭川厚生病院 地域医療連携室

つながる **窓** つなぐ **口** つなげる

### ① 地域医療連携室

**0166-33-7575 (直通)**

●受付時間: 平日8時30分~16時30分

### ② 代表電話

患者さんの紹介であることを  
電話交換にお伝え願います。

**0166-33-7171**

●受付時間: 平日8時30分~16時30分

※1 ①の直通電話が話中の場合は、②代表電話に電話をいただくことで電話交換から地域医療連携室担当者へ取り次ぐようにいたします。緊急を要する場合は各科診療科へ繋ぐようお願いください。

※2 時間外の場合は、救急外来(代表電話)へご相談ください。



Rapport  
Asahikawa Kosei Hospital

J A 北海道厚生連  
旭川厚生病院

旭川厚生病院 検索

〒078-8211 北海道旭川市1条通24丁目111-3 TEL.0166-33-7171 FAX.0166-33-6075

「Rapport (ラポール)」とは、フランス語で「つながり」「架け橋」、心理学用語で「信頼関係」を意味する言葉です。本誌は、旭川市のシンボル「旭橋」のように地域の皆様と当院がつながり、信頼関係を築けるような広報誌を目指します。

取材・編集 / 東洋株式会社 旭川支店



呼吸器科



Instagram  
アカウント名  
asahikawakosei\_hospital

# 呼吸器科

## 医療機関相互の連携で支える呼吸器医療

旭川厚生病院呼吸器科は、開設以来、地域の呼吸器診療を継続して担ってきました。現在は専門医・指導医を含む体制のもと、肺がんをはじめとする幅広い呼吸器疾患に対応し、地域医療機関との連携を重視した診療を行っています。

旭川厚生病院呼吸器科は、平成9年4月に秋葉裕二医師（元副院長）が単身で着任し、診療を開始したことに始まります。開設当初は1名体制からのスタートでしたが、その後、診療体制の拡充を重ねてきました。現在は常勤医師5名（日本呼吸器学会専門医3名、指導医2名）による体制で診療を行っています。

現在、入院では常時約30名、外来では1日60名以上の患者さんの診療を担当しています。これまで当科の診療に携わった医師とのつながりもあり、市内および近郊医療圏から多くのご紹介をいただいています。紹介医療機関との連携を基盤に、呼吸器診療の中核となるべく活動しています。

診療対象は肺がんが最



も多く、気管支喘息、

COPD、間質性肺炎、各種肺炎、新型コロナウイルス感染症など、幅広い呼吸器疾患に対応しています。各種診療ガイドラインの改定や最新知見を踏まえ、標準治療を基本とした質の高い診療の提供に努めています。

また、院内の各専門内科・外科をはじめ、放射線科、呼吸器外科、病理科、訪問看護ステーションなど関係部門と密接に連携し、診断から治療、退院後支援まで一貫した診療体制を整えています。

### 受入対象疾患一覧

- ・肺癌・縦隔胸膜由来腫瘍・呼吸器感染症・気管支喘息
- ・アレルギー性肺疾患
- ・慢性閉塞性肺疾患・間質性肺疾患・気胸/胸膜疾患
- ・急性/慢性呼吸不全・肺血栓塞栓症
- ・その他稀少肺疾患

### 診断に迷う症例もご相談ください

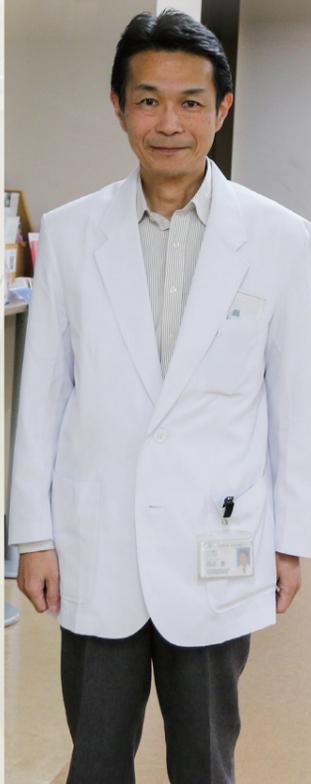
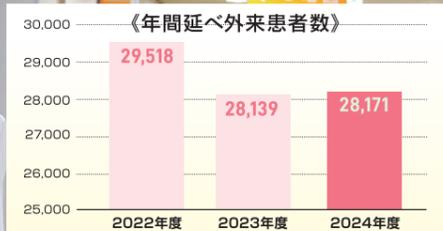
当科では、「診断に迷う症例」「治療方針の選択に検討を要する症例」についても積極的にご紹介を受け入れており、専門的評価に基づく診断および実践的な治療につなげています。

肺がん診療では、

PET-CT検査、気管支鏡検査などの各種検査に加え、画像診断・病理診断・遺伝子解析を踏まえた正確な病期診断を行い、手術、放射線治療、薬物療法（免疫

### 医師体制

●1日平均外来患者数	
外来患者数	外来新患者数
62名	707名
(1日平均)	
●1日平均入院患者数	
入院患者数	新入院患者数
32名	597名
(1日平均)	



チェックポイント阻害薬、分子標的薬を含む）を組み合わせた集学的治療へ速やかにつなげています。

間質性肺炎については、鑑別診断から治療方針の決定、急性増悪時の対応まで一貫して対応しています。

慢性閉塞性肺疾患

症、結核など幅広い疾患に対して適切な診断と治療を実施しています。

(COPD)や気管支喘息などの慢性呼吸器疾患では、薬物療法の最適化、増悪予防の評価、在宅医療導入の支援に加え、急性増悪時の入院対応および原因評価・治療も行っています。

また、原因不明の胸水貯留や気胸に対する原因精査、胸腔ドレナージ、胸膜癒着術などの処置にも随時対応しています。

# 肺がん診療

— 多診療科連携による肺がん診療／  
がんゲノム診療にも対応



肺がんは、咳嗽、血痰、胸痛、呼吸困難などの症状を契機に発見される場合のほか、健診や他疾患の経過観察中の検査で偶然発見されることもあります。自覚症状を伴わないまま見つかるケースや、脳・骨などへの転移に関連した症状から診断に至る場合もあります。

果を踏まえて治療戦略を個別に検討しています。

当院では、PET-CT検査、気管支鏡検査、病理診断、遺伝子解析などを組み合わせ、正確な病期診断と治療方針決定を行っています。治療は、手術、放射線治療、薬物療法（化学療法、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）を組み合わせた集学的治療を基本としています。

治療方針の決定にあたっては、呼吸器科、呼吸器外科、放射線診断・治療科、病理診断科など複数診療科での検討体制をとり、専門的観点から総合的に判断しています。

肺がんの治療方針は、組織型（小細胞がん・非小細胞がん）および病期（ステージ）によって大きく異なります。特に非小細胞肺がんでは、PD-L1発現や遺伝子変異（EGFR、ALKなど）の有無を評価し、その結

また、併存疾患の状況や生活背景、就労状況なども踏まえ、関係診療科・部門と連携しながら、患者さんごとの状況に応じた治療提案と実施に努めています。



## がんゲノム診療・個別化医療への対応



肺がんでは組織型に応じて、初回診断時から遺伝子変異の有無を評価しています。さらに、標準治療がない場合や標準治療終了後・終了見込みの患者さんに対しては、より広範な遺伝子情報を解析する「がんゲノム診療」にも対応しています。

## 間質性肺炎に対する専門的評価と治療

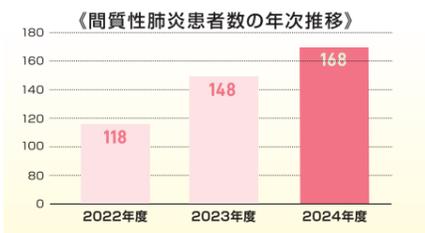
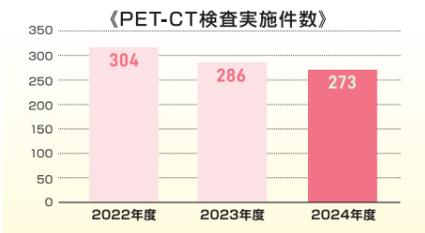
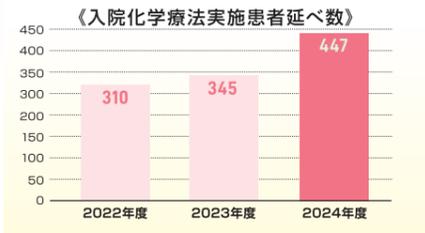
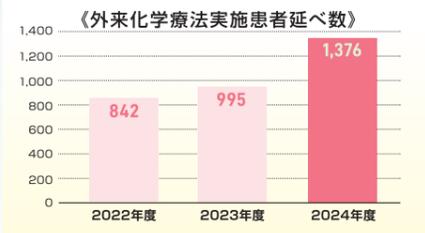
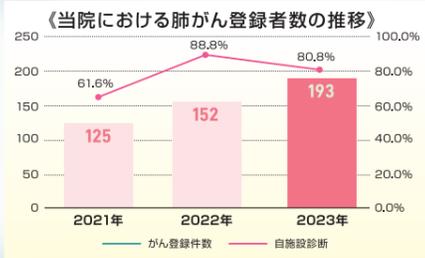
### 早期紹介が治療選択肢を広げます

間質性肺炎は、乾いた咳（乾性咳嗽）や労作時の息切れを主な症状とし、胸部画像検査で両側にびまん性の陰影を認める疾患群の総称です。肺の間質（肺胞の壁）に炎症や線維化が生じることが特徴です。

原病やサルコイドーシスなどの全身性疾患に関連するもののほか、原因が特定できない特発性間質性肺炎が含まれます。中には進行が早く予後に影響する病型もあるため、早期の専門的評価が重要です。

当科では、画像診断・呼吸機能検査・血液検査などを組み合わせ、専門的評価を行い、病型や進行度に応じて、抗線維化薬、ステロイド、免疫抑制薬などを用いた個別化治療を実施しています。患者さんの生活背景や併存疾患も踏まえ、治療方針を総合的に検討します。

## 《呼吸器科の診療実績》



## 理念

私たちは、  
「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。  
患者さんの権利を尊重し、  
いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。  
地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

## 基本方針

1. 患者中心の医療と安全・快適な療養環境をつくります。
2. 高度医療を推進するとともに、総合周産期医療の確立に努めます。
3. 医療機関相互の機能連携を推進いたします。
4. 職員の教育・研修を推進いたします。
5. 経営基盤の強化を図り、健診事業の充実と医療・保健・福祉活動を通じて地域に貢献いたします。

IKEDA MAYA

医師

池田 まや

経歴 2022 旭川医科大学病院  
2023 旭川厚生病院  
2024 旭川医科大学病院  
2025 旭川厚生病院

## 呼吸器科医師

KAZEBAYASHI YOSHIHIRO

部長

風林 佳大

経歴 2010 旭川医科大学病院  
2014 名寄市立総合病院  
2015 旭川医科大学病院  
2021 旭川厚生病院

資格等 日本内科学会認定内科医師  
インфекション  
コントロールドクター

NISHIGAKI YUTAKA



主任部長

西垣 豊

経歴 1990 帯広厚生病院  
1991 旭川医科大学病院  
1991 旭川医療センター  
1994 旭川医科大学病院  
2001 旭川医療センター  
2013 旭川厚生病院

資格等 日本呼吸器学会専門医・指導医  
日本内科学会認定内科医師

AKIBA YUJI



医師

秋葉 裕二

経歴 1985 旭川医療センター  
1987 士別市立病院  
1988 旭川医科大学病院  
1997 旭川厚生病院

資格等 日本呼吸器学会専門医・指導医  
日本内科学会認定内科医師  
インフェクション  
コントロールドクター

TSUJIE KATSUYA



医長

辻榮 克也

経歴 2009 道北動医協一条通病院  
2014 旭川厚生病院

資格等 日本呼吸器学会専門医  
日本内科学会認知内科医師



「旭川肺を診る会」は歴史のある会で、旭川地区の呼吸器疾患を診療する基幹病院である旭川医科大学付属病院、市立旭川病院、旭川赤十字病院、旭川医療センター、旭川厚生病院の医師および旭川医療圏の病院またクリニックの医師がひとところに集まり疾患・症例についてディスカッションする地域参加型のカンファレンスです。

呼吸器疾患をテーマに、施設の枠を越えてディスカッションを行っています。参加されるのは経験豊富な医師から研修医まで幅広く臨床診断のレベルアップに寄与する症例や診断・治療に苦慮

## 地域連携による症例検討の取り組み

当院は「旭川肺を診る会」の事務局をしており、当院で定期的な会を開催させていただいています。

「旭川肺を診る会」は歴史のある会で、旭川地区の呼吸器疾患を診療する基幹病院である旭川医科大学付属病院、市立旭川病院、旭川赤十字病院、旭川医療センター、旭川厚生病院の医師および旭川医療圏の病院またクリニックの医師がひとところに集まり疾患・症例についてディスカッションする地域参加型のカンファレンスです。

呼吸器疾患をテーマに、施設の枠を越えてディスカッションを行っています。参加されるのは経験豊富な医師から研修医まで幅広く臨床診断のレベルアップに寄与する症例や診断・治療に苦慮

「旭川肺を診る会」は歴史のある会で、旭川地区の呼吸器疾患を診療する基幹病院である旭川医科大学付属病院、市立旭川病院、旭川赤十字病院、旭川医療センター、旭川厚生病院の医師および旭川医療圏の病院またクリニックの医師がひとところに集まり疾患・症例についてディスカッションする地域参加型のカンファレンスです。



呼吸器疾患にご興味のある方、症例のご相談・紹介を  
考えておられる方などおられましたら  
偶数月第二木曜日の18時30分から当院3階会議室にて開催  
是非ご参加よろしくお願いたします。